



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

90.2.21 (鉄電) 千葉 2935 2936 (公) 千葉 (22) 7307 (電)

No.



団交で多額交際の 会社が決めたのだからやれる??

二月一七日、検修、事務関係の団交が開催された。この日は、交渉部を先頭に検修現場からも年休をとり「説明員」が出席する中で、するどく千葉支社当局を追及してきた。しかし、おどろくべきことに、当局はわれわれの解明要求には何一つ答えず、苦しまぎれに「会社が決めたのだから、やれる」という耳を疑うような発言に、出席者は、激しい怒りをおぼえ徹底的に弾劾してきた。

その一部を紹介すると「組合」要員の削減提示だけで作業量、作業ダイヤも示さないのでは、検討もできない。全く不誠実だ。今すぐ明らかにせよ!

〔当局〕資料で提示する必要はない。現場で指示すればできる。

〔組合〕交際の抜本的変更であり、作業の複雑さが予想される。安全面でも問題がある。作業量、作業ダイヤを出して話し

合うのが団交ではないのか!

〔当局〕会社が決めたのだから、やれる。!?

〔組合〕トンデモナイ暴言だ。なんという言い草なのか、断じて許せない。(それぞれから抗議の発言)

〔当局〕・・・

〔組合〕千葉支社は、団交をまともにやろうとしないのではないのか、これでは団体交渉も労働組合も無視することに等しい、断じて許せない。

〔当局〕・・・

・(答えられず)

尚、京葉電車区について、事務、運転士、検修について、業務量及び作業体制について解明を求めたが、当局は何一つ具体的に答えず、「やれる」「出来る」のみを繰り返すのみであり、われわれは激しく抗議した。

当局のあまりにも目茶苦茶な姿勢を、これ以上放置してはならない。

明日
22:00 PM
6cc
スト首徹
総決起集会

強制配転者の原職復帰は配転期間も考慮する

前回のダイヤ改の集約確認

このひらき直り許せるか
↓ 一年後 ↓
考慮するということは実施することと別。

2月6日、団交の席上での当局発表。

二月六日、強制配転者の原職復帰問題について団体交渉が開かれた。

しかし当局は、前回ダイヤ改の集約にあたって、「メモ」として確認した「配転者の原職復帰にあたっては、配転期間も考慮する」との確約を一方的に破棄し、何と「考慮する」といったことは、実施することとは別問題」と開き直ったのである。

また当時当局は、「乗務員格差賃金が切れることは会社側としても充分認識している」と明言していた。こうした一切を反故にしたのだ。

これでは何を確認しよう、何回団交を行おうと全く無意味ではないか。

動力千葉漬しのためには革マルと手を結び、団交確認を破棄しよう、白を黒と叫ぶくろめようとテンとして恥ないのが現在のJR当局である。